平成25年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上 場 会 社 名　アニコム ホールディングス株式会社　　上場取引所　東証マザーズ
コ ー ド 番 号　8715　　ＵＲＬ　http://www.anicom.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　小森　伸昭
問合せ先責任者　（役職名）　取締役経営企画部長　　（氏名）　須田　一夫　　（TEL）(03) 5348-3911
四半期報告書提出予定日　平成24年11月28日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 ３月期中間期	7,939	21.8	498	－	390	－
24年 ３月期中間期	6,519	26.2	△73	－	△87	－

（注）　包括利益　　25年 ３月期中間期　393百万円（－%）　　24年 ３月期中間期　△86百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
25年 ３月期中間期	23.38	21.67
24年 ３月期中間期	△5.31	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 ３月期中間期	15,936	7,491	47.0
24年 ３月期	15,355	7,071	46.1

（参考）自己資本　　25年 ３月期中間期　7,491百万円　　24年 ３月期　7,071百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 ３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年 ３月期	－	0.00			
25年 ３月期(予想)			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	15,970	15.3	829	146.0	630	35.5	37.75

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（1）当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：有
④　修正再表示　：無

（注）詳細につきましては[添付資料]Ｐ．２「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご参照ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期中間期	16,792,000株	24年3月期	16,645,600株
②　期末自己株式数	25年3月期中間期	610株	24年3月期	610株
③　期中平均株式数(中間期)	25年3月期中間期	16,707,407株	24年3月期中間期	16,477,757株

(個別業績の概要)

１．平成25年３月期第２四半期（中間期）の個別業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（1）個別経営成績　(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年　3月期中間期	257	△4.3	59	△10.2	61	△11.0	40	△66.7
24年　3月期中間期	269	△8.6	66	△4.4	69	△9.4	122	29.2

	１株当たり中間純利益
	円　銭
25年　3月期中間期	2.44
24年　3月期中間期	7.44

（2）個別財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年　3月期中間期	8,163	8,125	99.5
24年　3月期	8,099	8,058	99.5

（参考）自己資本　25年　3月期中間期　8,125百万円　24年　3月期　8,058百万円

２．平成25年３月期の個別業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	533	△6.7	136	△17.5	139	△18.5	92	△51.1	5.51

※ 中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表の監査手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P．２「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当中間期に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．中間連結財務諸表 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 4
（３）中間連結株主資本等変動計算書 …… 6
（４）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（５）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）セグメント情報 …… 9
４．中間財務諸表 …… 10
（１）中間貸借対照表 …… 10
（２）中間損益計算書 …… 11
（３）中間株主資本等変動計算書 …… 12
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 14
５．補足情報 …… 14
（１）平成25年３月期中間期　損益状況 …… 14
（２）経常収益の状況 …… 15
（３）種目別保険料・保険金 …… 16
（４）有価証券関係 …… 17
（５）ソルベンシー・マージン比率 …… 18

１．当中間期に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が緩やかな回復基調を示したものの、海外景気の減速等を背景として、引き続き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社は、ペット保険募集の主力チャネルとなるペットショップ代理店において、販売促進キャンペーンを実施し、新規契約の獲得を図りました。一方で、既にペットを飼われている方々をターゲットとする一般代理店においては、金融機関代理店や生活協同組合、カーディーラー、職域代理店等のさらなる拡充に取り組むなど、募集力の強化に努めました。また、既存のご契約者への各種サービス充実にも努め、高い継続率の維持を図りました。

以上の結果、当社グループにおける当第２四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。保険引受収益7,799百万円、資産運用収益71百万円などを合計した経常収益は7,939百万円（前第２四半期連結累計期間と比べ1,419百円増加・21.8%増）となりました。一方、保険引受費用5,478百万円、営業費及び一般管理費1,819百万円などを合計した経常費用は7,440百万円（同847百万円増加・12.9%増）となったことから、経常利益は498百万円（前第２四半期連結累計期間は73百万円の経常損失）となりました。これに、特別損失、法人税及び住民税等などを加減した中間純利益は390百万円（前第２四半期連結累計期間は87百万円の中間純損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①貸借対照表の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、主としてアニコム損保の営業活動で得た資金（保険料収入）が有価証券の取得につながり、前連結会計年度末に比べて3.8%増の15,936百万円となりました。負債合計は、正味収入保険料の増加にともない保険契約準備金などが増加したことにより、同2.0%増の8,445百万円となりました。純資産合計は、当中間期に計上した純利益などにより、同5.9%増の7,491百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主としてアニコム損保において支払保険金の増加から異常危険準備金が取り崩しとなったことから、前第２四半期連結累計期間に比べて194百万円減少し、714百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が増加したことにより前第２四半期連結累計期間に比べて667百万円支出増加の1,157百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使にともなう株式の発行等により、24百万円の収入となりました。

これらの結果、当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ417百万円減少し1,126百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、平成24年10月26日に発表しました業績予想から変更しておりません。なお、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当中間連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当中間連結会計期間の経常収益、経常利益及び税金等調整前中間純利益に与える影響は軽微であります。

３．中間連結財務諸表
（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当中間連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
現金及び預貯金	5,098	5,081
有価証券	7,444	8,196
有形固定資産	93	99
無形固定資産	387	374
その他資産	1,981	1,927
未収金	839	900
保険業法第113条繰延資産	808	727
その他の資産	333	300
繰延税金資産	353	263
貸倒引当金	△5	△7
資産の部合計	15,355	15,936
負債の部		
保険契約準備金	7,152	7,168
支払備金	1,001	1,228
責任準備金	6,151	5,939
その他負債	1,073	1,212
賞与引当金	55	62
特別法上の準備金	0	1
価格変動準備金	0	1
負債の部合計	8,283	8,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,194	4,208
資本剰余金	4,084	4,097
利益剰余金	△1,211	△821
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,067	7,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	6
その他の包括利益累計額合計	3	6
純資産の部合計	7,071	7,491
負債及び純資産の部合計	15,355	15,936

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
経常収益	6,519	7,939
保険引受収益	6,397	7,799
（うち正味収入保険料）	6,397	7,587
（うち責任準備金戻入額）	－	211
資産運用収益	44	71
（うち利息及び配当金収入）	43	62
（うち有価証券売却益）	1	8
その他経常収益	78	69
経常費用	6,593	7,440
保険引受費用	4,722	5,478
（うち正味支払保険金）	3,335	4,555
（うち損害調査費）	214	289
（うち諸手数料及び集金費）	378	406
（うち支払備金繰入額）	283	226
（うち責任準備金繰入額）	509	－
資産運用費用	1	0
（うち有価証券売却損）	0	0
（うち有価証券償還損）	0	－
営業費及び一般管理費	1,724	1,819
その他経常費用	145	143
（うち支払利息）	0	0
経常利益又は経常損失（△）	△73	498
特別損失	7	0
固定資産処分損	1	0
特別法上の準備金繰入額	0	0
価格変動準備金繰入額	0	0
東日本大震災義捐金	5	－
その他特別損失	0	－
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△81	497
法人税及び住民税等	18	18
法人税等調整額	△12	88
法人税等合計	6	107
少数株主損益調整前中間純利益又は少数株主損益調整前中間純損失（△）	△87	390
中間純利益又は中間純損失（△）	△87	390

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前中間純利益又は少数株主損益調整前中間純損失（△）	△87	390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益合計	0	2
中間包括利益	△86	393
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△86	393
少数株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	4,178	4,194
当中間期変動額		
新株の発行	3	13
当中間期変動額合計	3	13
当中間期末残高	4,182	4,208
資本剰余金		
当期首残高	4,068	4,084
当中間期変動額		
新株の発行	3	13
当中間期変動額合計	3	13
当中間期末残高	4,072	4,097
利益剰余金		
当期首残高	△1,677	△1,211
当中間期変動額		
中間純利益又は中間純損失（△）	△87	390
当中間期変動額合計	△87	390
当中間期末残高	△1,764	△821
自己株式		
当期首残高	△0	△0
当中間期変動額		
自己株式の取得	△0	－
当中間期変動額合計	△0	－
当中間期末残高	△0	△0
株主資本合計		
当期首残高	6,569	7,067
当中間期変動額		
新株の発行	7	26
中間純利益又は中間純損失（△）	△87	390
自己株式の取得	△0	－
当中間期変動額合計	△80	416
当中間期末残高	6,489	7,484

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	18	3
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	2
当中間期変動額合計	0	2
当中間期末残高	19	6
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18	3
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	2
当中間期変動額合計	0	2
当中間期末残高	19	6
純資産合計		
当期首残高	6,588	7,071
当中間期変動額		
新株の発行	7	26
中間純利益又は中間純損失（△）	△87	390
自己株式の取得	△0	－
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	2
当中間期変動額合計	△79	419
当中間期末残高	6,508	7,491

（４）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△81	497
減価償却費	37	45
支払備金の増減額（△は減少）	283	226
責任準備金の増減額（△は減少）	509	△211
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	6	6
価格変動準備金の増減額（△は減少）	0	0
利息及び配当金収入	△42	△62
有価証券関係損益（△は益）	△0	△8
支払利息	0	0
有形固定資産関係損益（△は益）	1	0
その他資産（除く投資活動関連、財務活動関連）の増減額（△は増加）	14	53
その他負債（除く投資活動関連、財務活動関連）の増減額（△は減少）	155	146
小計	885	698
利息及び配当金の受取額	40	40
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△16	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー	909	714
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額（△は増加）	△350	△400
有価証券の取得による支出	△1,608	△4,680
有価証券の売却・償還による収入	1,518	3,964
資産運用活動計	△439	△1,115
営業活動及び資産運用活動計	469	△400
有形固定資産の取得による支出	△2	△22
その他	△48	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490	△1,157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	7	26
自己株式の取得による支出	△0	－
リース債務の返済による支出	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	5	24
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	424	△417
現金及び現金同等物の期首残高	679	1,543
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,103	1,126

（５）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）セグメント情報
１．報告セグメントの概要
当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。
当社グループは、保険業法第３条に基づき損害保険業の免許を取得したアニコム損害保険株式会社が行う損害保険事業（ペット保険）を中核事業としております。
従って、損害保険事業を報告セグメントとしております。
「損害保険事業」は、ペット保険の保険引受業務及び資産運用業務を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計（注）２
	損害保険事業		
外部顧客への経常収益	7,871	68	7,939
セグメント間の内部経常収益又は振替高	－	－	－
計	7,871	68	7,939
セグメント利益	491	7	498
セグメント資産	15,823	113	15,936
セグメント負債	8,391	54	8,445
その他の項目			
減価償却費	44	1	45
資産運用収益	69	1	71
支払利息	0	－	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	38	0	38

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、保険代理店事業等を含んでおります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

４．中間財務諸表
（１）中間貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当中間会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	975	1,107
売掛金	57	45
有価証券	318	319
その他	97	41
繰延税金資産	21	12
流動資産合計	1,471	1,526
固定資産		
有形固定資産	44	51
無形固定資産	9	10
投資その他の資産		
関係会社株式	6,534	6,534
その他	40	40
投資その他の資産合計	6,574	6,574
固定資産合計	6,628	6,637
資産合計	8,099	8,163
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	3	12
賞与引当金	1	1
その他	36	24
流動負債合計	41	38
負債合計	41	38
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,194	4,208
資本剰余金		
資本準備金	4,084	4,097
資本剰余金合計	4,084	4,097
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△221	△180
利益剰余金合計	△221	△180
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,058	8,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	－	－
評価・換算差額等合計	－	－
純資産合計	8,058	8,125
負債純資産合計	8,099	8,163

（２）中間損益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業収益		
経営管理料	269	257
営業収益合計	269	257
営業費用		
販売費及び一般管理費	203	198
営業費用合計	203	198
営業利益	66	59
営業外収益		
受取利息	1	1
有価証券利息	0	0
有価証券売却益	0	－
その他	0	0
営業外収益合計	2	1
営業外費用		
支払利息	0	－
営業外費用合計	0	－
経常利益	69	61
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前中間純利益	69	61
法人税、住民税及び事業税	△55	11
法人税等調整額	1	9
法人税等合計	△53	20
中間純利益	122	40

（３）中間株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	4,178	4,194
当中間期変動額		
新株の発行	3	13
当中間期変動額合計	3	13
当中間期末残高	4,182	4,208
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	4,068	4,084
当中間期変動額		
新株の発行	3	13
当中間期変動額合計	3	13
当中間期末残高	4,072	4,097
資本剰余金合計		
当期首残高	4,068	4,084
当中間期変動額		
新株の発行	3	13
当中間期変動額合計	3	13
当中間期末残高	4,072	4,097
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	△409	△221
当中間期変動額		
中間純利益	122	40
当中間期変動額合計	122	40
当中間期末残高	△287	△180
利益剰余金合計		
当期首残高	△409	△221
当中間期変動額		
中間純利益	122	40
当中間期変動額合計	122	40
当中間期末残高	△287	△180
自己株式		
当期首残高	△0	△0
当中間期変動額		
自己株式の取得	△0	－
当中間期変動額合計	△0	－
当中間期末残高	△0	△0

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当中間会計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
株主資本合計		
当期首残高	7,837	8,058
当中間期変動額		
新株の発行	7	26
中間純利益	122	40
自己株式の取得	△0	－
当中間期変動額合計	129	67
当中間期末残高	7,967	8,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	△0	－
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	－
当中間期変動額合計	0	－
当中間期末残高	－	－
評価・換算差額等合計		
当期首残高	△0	－
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	－
当中間期変動額合計	0	－
当中間期末残高	－	－
純資産合計		
当期首残高	7,836	8,058
当中間期変動額		
新株の発行	7	26
中間純利益	122	40
自己株式の取得	△0	－
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	－
当中間期変動額合計	130	67
当中間期末残高	7,967	8,125

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

5．補足情報

（1）平成25年３月期中間期　損益状況

（単位：百万円）

区分		前中間連結会計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	比較増減	増減率 （%）
経常損益	保険引受収益	6,397	7,799	1,401	21.9%
	（うち正味収入保険料）	（ 6,397 ）	（ 7,587 ）	(1,190)	(18.6)
	（うち責任準備金戻入額）	（ － ）	（ 211 ）	(211)	(－)
	（うち収入積立保険料）	（ － ）	（ － ）	(－)	(－)
	保険引受費用	4,722	5,478	755	16.0
	（うち正味支払保険金）	（ 3,335 ）	（ 4,555 ）	(1,220)	(36.6)
	（うち損害調査費）	（ 214 ）	（ 289 ）	(74)	(34.7)
	（うち諸手数料及び集金費）	（ 378 ）	（ 406 ）	(27)	(7.3)
	（うち支払備金繰入額）	（ 283 ）	（ 226 ）	(△57)	(△20.1)
	（うち責任準備金繰入額）	（ 509 ）	（ － ）	(△509)	(△100.0)
	資産運用収益	44	71	27	62.2
	（うち利息及び配当金収入）	（ 43 ）	（ 62 ）	(19)	(45.7)
	（うち有価証券売却益）	（ 1 ）	（ 8 ）	(7)	(770.0)
	資産運用費用	1	0	△0	△82.5
	（うち有価証券売却損）	（ 0 ）	（ 0 ）	(△0)	(△52.5)
	（うち有価証券償還損）	（ 0 ）	（ － ）	(△0)	(△100.0)
	営業費及び一般管理費	1,724	1,819	94	5.5
	その他経常損益	△66	△73	△6	△10.2
	保険業法第113条繰延資産繰延額	－	－	－	－
	経常利益又は経常損失（△）	△73	498	572	－
特別損益	特別利益	－	－	－	－
	特別損失	7	0	△6	△88.2
	特別損益	△7	△0	6	88.2
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）		△81	497	579	－
法人税及び住民税等		18	18	0	4.0
法人税等調整額		△12	88	100	－
法人税等合計		6	107	101	1,671.8
少数株主損益調整前中間純利益又は少数株主損益調整前中間純損失（△）		△87	390	478	－
中間純利益又は中間純損失（△）		△87	390	478	－

（２）経常収益の状況

当中間連結会計期間の経常収益をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	対前年同四半期 増減（△）率
	金額（百万円）	金額（百万円）	（%）
損害保険事業（ペット保険）	6,440	7,871	22.2
損害保険（アニコム損害保険㈱）	6,440	7,871	22.2
（うち正味収入保険料）	6,397	7,587	18.6
その他の事業	78	68	△13.6
動物病院支援	42	50	21.0
保険代理店	8	6	△24.3
その他	28	10	△62.1
合計	6,519	7,939	21.8

（注）　１　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２　主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、全体の10%を超える相手先が無いため記載しておりません。

（３）種目別保険料・保険金

アニコム損害保険株式会社における保険引受の実績は以下のとおりであります。

①　元受正味保険料（含む収入積立保険料）

区分	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）			当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）		
	金額 （百万円）	構成比 （％）	対前年同四半期 増減（△）率 （％）	金額 （百万円）	構成比 （％）	対前年同四半期 増減（△）率 （％）
ペット保険	6,397	100.0	27.3	7,587	100.0	18.6
合計	6,397	100.0	27.3	7,587	100.0	18.6
（うち収入積立保険料）	（－）	（－）	（－）	（－）	（－）	（－）

（注）　元受正味保険料（含む収入積立保険料）とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。（積立型保険の積立保険料を含む）

②　正味収入保険料

区分	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）			当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）		
	金額 （百万円）	構成比 （％）	対前年同四半期 増減（△）率 （％）	金額 （百万円）	構成比 （％）	対前年同四半期 増減（△）率 （％）
ペット保険	6,397	100.0	27.3	7,587	100.0	18.6
合計	6,397	100.0	27.3	7,587	100.0	18.6

③　正味支払保険金

区分	前中間連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）			当中間連結会計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）		
	金額 （百万円）	構成比 （％）	対前年同四半期 増減（△）率 （％）	金額 （百万円）	構成比 （％）	対前年同四半期 増減（△）率 （％）
ペット保険	3,335	100.0	54.3	4,555	100.0	36.6
合計	3,335	100.0	54.3	4,555	100.0	36.6

（４）有価証券関係

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

１．満期保有目的の債券

前連結会計年度（平成24年３月31日）

種類	連結貸借対照表計上額（百万円）	時価（百万円）	差額（百万円）
公社債	3,098	3,141	43
合計	3,098	3,141	43

当中間連結会計期間（平成24年９月30日）

種類	中間連結貸借対照表計上額（百万円）	時価（百万円）	差額（百万円）
公社債	3,870	3,953	82
合計	3,870	3,953	82

２．その他有価証券

前連結会計年度（平成24年３月31日）

種類	連結貸借対照表計上額（百万円）	取得原価（百万円）	差額（百万円）
公社債	501	500	1
株式	3	3	△0
その他	3,819	3,814	4
合計	4,324	4,318	5

（注）時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

当中間連結会計期間（平成24年９月30日）

種類	中間連結貸借対照表計上額（百万円）	取得原価（百万円）	差額（百万円）
公社債	716	713	2
株式	13	15	△1
その他	3,574	3,565	9
合計	4,304	4,294	10

（注）時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

（５）ソルベンシー・マージン比率

アニコム損害保険株式会社の「ソルベンシー・マージン比率」は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （平成24年３月31日） （百万円）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日） （百万円）
(A) ソルベンシー・マージン総額	5,415	5,395
資本金又は基金等	4,621	5,100
価格変動準備金	0	1
危険準備金	－	－
異常危険準備金	783	279
一般貸倒引当金	3	4
その他有価証券の評価差額（税効果控除前）	5	9
土地の含み損益	－	－
配当準備金未割当部分	－	－
持込資本金等	－	－
繰延税金資産の不算入額	－	－
税効果相当額	－	－
負債性資本調達手段等、保険料積立金等余剰部分	－	－
控除項目	－	－
(B) リスクの合計額 $\sqrt{\{(R5+R8)^2+(R2+R3)^2\}}+R4+R6$	3,524	3,894
一般保険リスク（Ｒ５）	3,415	3,773
第三分野保険の保険リスク（Ｒ８）	－	－
予定利率リスク（Ｒ２）	－	－
資産運用リスク（Ｒ３）	136	151
巨大災害リスク（Ｒ６）	－	－
経営管理リスク（Ｒ４）	106	117
(C) ソルベンシー・マージン比率（%） [(A)/{(B)×1/2}]×100	307.2%	277.0%

（注） 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成８年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。

・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

① 保険引受上の危険（一般保険リスク）（第三分野保険の保険リスク）：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）

② 予定利率上の危険（予定利率リスク）：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険

③ 資産運用上の危険（資産運用リスク）：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等

④ 経営管理上の危険（経営管理リスク）：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの

⑤ 巨大災害に係る危険（巨大災害リスク）：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険

・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。

・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつでありますが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。